

人づくり・関係づくり・地域づくりをコンセプトに、生涯学習・社会教育に関する様々な情報をお届けします。(裏面もご覧下さい。)

西郷村教育基本理念「自立と共生」

令和8年2月6日(金)

中央公民館だより

No. 33

発行責任者
教育長 秋山充司

文責
館長 渡邊康一



「住民による主体的な活動の場」「みんなが気軽に集える場」

西の郷少年少女合唱クラブ【閉講式12/20】

—美しいハーモニーで、みんなに元気を届けました！—

令和7年度は、20名の小・中学生が参加し、村上恭子先生と渡邊砂織先生のご指導で、6月から12月まで16回練習を行いました。そして、8月の「ベティちゃん人形」10月の「にしごう祭り」「文化祭芸能発表会」、12月の「クリスマスおはなしコンサート」で練習の成果を発表し、多くの方に美しいハーモニーを届けました。12月20日は閉講式を行い、ご指導の先生からは、みんなで一緒に練習して頑張ったことや音楽の楽しさを合唱を通して実感したことなど、お褒めの言葉をいただきました。

令和8年度も、合唱クラブを募集しますので、小・中学生の参加をお待ちしています。子ども達に寄り添い、熱心にご指導いただいた村上先生と渡邊先生には、厚く御礼申し上げます。



<閉講式>



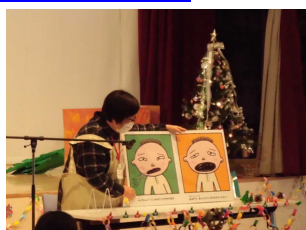
<クリスマスコンサート>



<合唱クラブとスタッフ>

クリスマスおはなしコンサート(12/20) ～歌とおはなしのプレゼント～

村図書室のボランティアによる読み聞かせ、西の郷少年少女合唱クラブによる音楽劇「大きなかぶ」と合唱がありました。約80名の来場者は、歌とおはなしのプレゼントで楽しい一時を過ごしました。合唱の最後には、サンタクロースも登場し、合唱クラブと会場の子供達にプレゼントを配りました。



第2回POPコンクール表彰式(12/20)

クリスマスおはなしコンサートでは、初めにPOPコンクールの表彰式を行いました。今年度は、小学生から大人まで124名の応募がありました。11月の読書活動推進委員会が審査をし、20名が入賞となりました。どの応募作品も、本の特徴をよくとらえ、個性あふれるすばらしい作品ばかりでした。



応募作品は、文化センターロビーに掲示し、たくさんの来館者が見入っていました。図書室には、新刊図書や幅広いジャンルの本がありますので、是非多くの皆様にご利用いただきたいと思います。

※本は一人6冊まで2週間借りることができます。

地域学校協働活動本部事業（R7）

運営委員会 & 評価・検証委員会（1/29）

本村では、未来を担う子ども達を健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携・協働し、社会全体の教育力向上に向けた取組の一層の推進を図るために、西郷村地域学校協働本部を設置しています。そして、この本部に運営委員会（構成員：学校関係者、PTA関係者、各種団体の関係者、地域コーディネーター等）を設置し、年間事業計画等を審議しています。また、本事業の適切な在り方を検討するために、評価・検証委員会も設置し、よりよい事業となるよう進めています。第2回委員会では、今年度の実施状況の反省と、次年度の事業予定を協議しました。

また、評価・検証委員から、地域の方がそれぞれの立場で子ども達のために積極的に活動している本事業に対し、高い評価をいただきました。最後に県南教育事務所の吉田健一先生から、西郷村の取組のすばらしさと、今後の事業の継続についてご指導いただきました。



会議の中では、次のことを全体で確認しました。未来を担う子ども達のため皆様のご理解ご協力を今後もよろしくお願いいたします。

何のために地域と学校が連携協働するのか？

→一人一人の子どもの学びを豊かにするため
(地域を見る目を養う・地域資源を活用する)

地域学校協働活動（社会教育）の効果は？

→今を支えるだけでなく、未来の地域をつくる力



子ども司書講座（12/26）→図書の仕事とワークショップ

村内の小学生6名が参加しました。

はじめに、図書担当から図書室の説明を行い、実際に図書室で図書の貸し出しと返却、排架を体験しました。次に、図書ボランティアの方の読み聞かせ、本のフィルムコートの仕方、小物入れ作り体験をしました。最後に、一人一人の頑張りを称賛して、修了証が授与されました。



子ども達は、図書室での活動に意欲的に参加し、学びのある楽しい時間となりました。参加者から「来年も参加したい」という声も聞かれました。子ども司書講座は、来年度も実施しますので、多くの小学生のみなさんの参加をお待ちしています。

地区集会施設出前講座（地区集会施設の活用促進）

<谷地中地区 12/5> リトミック
(講師：伊丹 愛 氏)



<羽太グリーンタウン 12/27> 学習会
(講師：横川 勲和 氏)



<芝原地区 1/5> 笑いヨガ
(講師：大沼敏江 氏)



西郷村茶道会「初釜茶会」（1/20）

初日の出や書き初めなど、新年最初のものは特別な意味があります。茶道では、初釜がこれにあたり、「年が明けて初めて釜に火を入れる」ことを意味し、とても大切な行事とされています。この日は、千利休ゆかりの茶碗、掛け軸、生け花など、厳粛な中にも新年の雰囲気醸し出されました。茶道会の皆様の和服姿もとてもすばらしく、新年にふさわしい茶会でした。

